

第3回 TICAD 7に関する外務省・市民ネットワーク for TICAD 連携協議会 議事録

1. 基本事項

- (1) 日時：7月4日 午後2時30分～4時30分
- (2) 場所：外務省南庁舎 893 国際会議室
- (3) 参加者：
 - 外務省：牛尾滋アフリカ部長(TICAD 事務局長)、荒木要アフリカ第1課長(TICAD 事務局次長)、田原光児民間援助連携室首席事務官、石田裕喜アフリカ第2課課長補佐
 - NGO：澤柳孝浩(プランインターナショナルジャパン)、近藤光(ACE)、小俣典之(YNN)、山本公一(JPF)、堀江良彰、広谷樹里(AAR)、佐藤安紀子(WFF)、山口和美(JYPS)、大沼照美(SCJ)、武田治男(アフリカ開発研究会)、鈴木りえこ(SDGs・プロミス・ジャパン)、林達男(AJF)、今井高樹(JVC)、川原尚行(ロシナンテス)、宮崎理恵(ロシナンテス)、米良彰子、米津英介(ハンガーフリーワールド)、宮地佳那子(ジョイセフ)、山本公一(ジャパンプラットフォーム)、馬場口佳乃、稲場雅紀・廣内かおり(AJF)
- (4) 本議事録の成立について

本議事録は、標記会合で行われた討議について、「市民ネットワーク for TICAD」側がこれを録取し、編集して議事録案を作成し、外務省アフリカ部の確認を経て同ネットワークのウェブサイトに掲載するものである。

2. 挨拶

- (1) 牛尾部長：(エチオピアでの)高級実務者会合(SOM)で何人かの市民社会の方に会ったが、がんばっておられた。TICADの成果文書については、2か月前となり、今後、宣言文と行動計画の協議は本格化するが、厳しい調整となることが予想される。その他個別に何かあれば、本番までに外務省に連絡いただければ幸い。
- (2) 荒木課長：各在外公館にも協力してもらい、TICADを盛り上げている。ツイッターなどのSNSも含めぜひTICADに関する発信を多くして盛り上げてもらいたい。
- (3) 近藤市民ネットワーク for TICAD 代表世話人：ありがとうございます。今回はピラー1(経済開発)と3(平和と安定)について、NGO側から提案し、児童労働、若者の雇用、難民、LGBTなどについて事例を発表した。本番前の最後の会議なので充実したものになることを期待する。

3. エチオピアでの高級実務者会合(SOM)の概要報告

・アフリカのNGOも出席し、その声が届いたことはよかった。日本が主催するなかで、NGOとのセッションはなくてもよいのではないかと、という声は出ているが、日本政府としては続けていきたい。
・市民社会会合には世銀、志水AU大使が参加し自由な意見交換をしたと聞いている。(今後の予定としては)TICAD前日にSOMと閣僚会合を開催する予定である。

(NGO側からの概要)

・地元エチオピアのNGO/CSOが参加。開催国の市民社会との交流と意見交換は重要だった。登録の面でも政府の協力をいただき、5名が参加できた。
・当初は「テクノロジー、イノベーション、ピープル」というテーマだったが、「ピープル、テクノロジー、イノベーション」にすることを提案し、翌日のドラフトで変更されていた。

- ・市民社会と共催者の対話が、正式な本会合のなかで実現した。
- ・9日（前日）に市民社会で集まり、ステークホルダーミーティングを開催した。世銀、UNDP、UNOSAA、志水 AU 代表部大使等にもご参加いただいた。SOM 前日の多忙のなかで参加してくれたことに感謝したい。
- ・各セッションで発言ができたことは意義があった。
- ・共催者会合において、（NGO からの発言のなかで）国名を名指しした件について、アフリカ側の市民社会とともにお詫びをした。

質疑応答

・スーダンで政治的に不安定になっている状況について質問したい。4月にバシル政権が失脚し、不安定な状況が続いている。6月3日の軍部の弾圧により100名以上が死亡したと言われている。今も民生移行へのデモが続いている状況である。TICAD に向けてスーダンから招へいする人を教えてほしい。国際社会は、軍事評議会は暫定であるという認識である。また、スーダンの民主化について、TICAD を活用し問題解決に向けた議論などは考えているか。

・外務省：AU も日本政府も現在の政府は承認していない。SOM のときも出席しなかった。TICAD にも招へいする予定はない。代表がいないため、TICAD を活用した解決の機会を持つことは不可能である。

4. 成果文書等の進捗状況の説明

（ア）成果文書等の進捗状況の説明を受け、NGO 側からの要望書等に関する発言

・NGO のインプットについても最大限努力したい。引き続き、NGO からの提言についても UNDP や世銀等とも協議を続ける

・宣言文について

SOM の最後のセッションで宣言文と行動計画のドラフトが配布された。各国、国際機関ももう一度インプットをすることになっている。

（文書参照）

外務省：

- ・国際的、またはG20 で使われた文言を入れるということについては頑張っていきたい。
- ・一方、行動計画について、政府が提案したものは否定されており、今後どうなるのかまとまっていない。
- ・

5. TICAD 7（分科会、サイドイベントを含む）日程、ロジ事項の説明、質疑応答

- ・日程について。26日に高級実務者会合、27日閣僚会合
- ・市民社会向けの説明会を7月18日に行う予定

質疑応答

・28日にアネックスでシンポジウムを開催する予定である。首脳級の人を招へいしようと考えているが、大使から移動について質問があったため、本会議の開始が28日の3時かどうか確認したい。

（外務省回答）本会議は3時開始であり、間に合うように出番を考えてほしい。

・パスについてわかる範囲で教えてほしい。本会合に参加したいがどうしたらよいかという質問が来ている。今後のスケジュールについて聞きたい。

・サイドイベントの参加について、登録などは必要ないか。

（外務省回答）本会合の登録については、Afri-Can と調整中。ID 登録のサイト自体は立ち上がっている。市

民ネットワーク forTICAD でとりまとめをして、一括して登録を行うことになる。

- ・パスの数については、調整中。
- ・サイドイベントは、アネックスと展示ホールBで行うものについて、登録は必要なく出入りできる。規模はこれまでで最も大きい。

- ・サイドイベントはたくさんあると聞いているが、すべての内容について公開されるのはいつか。

→現在、パンフレットを作成中。ウェブサイトで公開の予定。

- ・市民ネットワーク forTICAD の活動スケジュールについて

- ・8月25日に市民 TICAD を開催予定（シンポジウム）。内容については CCfA と協議中。

- ・8月26日にパスの協議を行う会議を開催。

- ・8月27日公式サイドイベントが開始。

質疑応答

- ・首相によるスピーチはどのようになる予定か。

（外務省回答）ビジネス TICAD であるという点、官邸で力を入れている UHC についてとアフリカ健康構想、G20 で言及した SDGs 等に関連する発言などになるだろうと思う。

- ・（28日）歓迎レセプションの場所を教えてください。

（外務省回答）みなとみらいのロイヤルパークで開催される。

6. 閉会挨拶

外務省

・残り TICAD まで 2 か月を切っている。アフリカの現状、課題、今後の活動などを発表して盛り上げてほしい。TICAD の本会議は重要だが、関係者がアフリカについて自由に話すことができるという意味でサイドイベントが重要である。ユネスコが日本との共催で、AI の倫理についてアフリカを招いてイベントを開催する。こうした動きは歓迎したい。日本が何らかの規範や活動の方向性をつけられる場になるといいと考えている。（外務省としても）サイドイベントを重要視している。

Afri-Can 近藤

今回（の TICAD）はビジネスが中心になっているが、（NGO を）対等なパートナーとして位置付け、「誰も取り残さない」に配慮してビジネスを語ることが重要だと考える。要望書についてもそうした考え方を反映したものであり、インプットした内容については、ぜひ考慮してほしい。

5. 今後のスケジュール

TICAD 後にメールで Afri-Can 事務局と連絡調整を行う。